企業のみなさまへ

国立健康・栄養研究所は、大阪・北大阪健康医療都市(健都)へ移転を進めています。
大阪への移転を契機に、地域の産業振興に積極的に貢献していくとともに、民間企業との連携した研究開発に、さらに取り組んでいきます。

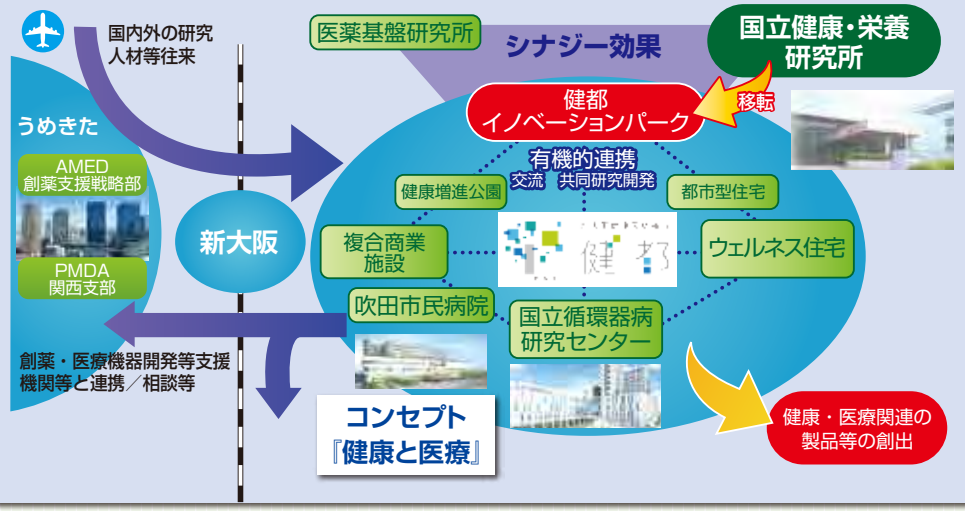
研究所との共同研究等にご興味・ご関心を
持っていただけましたら、**下記までお問い合わせください。**

お問い合わせ先

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所
sangakurenkei@nibiohn.go.jp

国立健康・栄養研究所　検索
URL:http://www.nibiohn.go.jp/eiken/

概念図 大阪府では国立健康・栄養研究所の大阪・北大阪健康医療都市(健都)への移転の実現に取り組んでいます。



国立健康・栄養研究所と民間企業等との連携促進に努めるとともに、
健康産業の創出に向け、研究所と協働して取り組みます。

大阪府
大阪府商工労働部成長産業振興室　ライフサイエンス産業課
〒560-0082豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル20階
TEL.06-6115-8100

2019年2月発行

新たな製品開発を国立健康・栄養研究所が応援します!

主な研究の紹介と連携のためのQ&A編

研究概要

健康と栄養に関する研究を通じて、国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的に、食生活と栄養、食品、身体活動・運動に関する次の業務を実施

- 国民の健康の保持及び増進に関する調査及び研究
- 国民の栄養その他国民の食生活の調査及び研究
- 食品についての栄養生理学上の試験
- 健康増進法に基づく業務
  - ☑国民健康・栄養調査の集計
  - ☑特別用途食品の許可、承認に必要な試験及び収去された食品の試験

特　長

健康・栄養・運動の研究をあわせ持つ唯一の国立研究開発法人

・健康栄養分野における論文・学会発表で国内トップクラスの実績
平成29年度実績
→ 原著論文：**75報**
→ 学会発表：**216回**（国際学会 14回、国内学会 202回）

信頼できる豊富なデータ

・一般の方から専門家まで 幅広く活用できる健康食品やその成分の安全性・有効性情報を継続的に収集・蓄積
・国民健康・栄養調査によって全国から得られたデータ等の分析による科学的根拠の充実(「食事摂取基準」の策定などに活用)

専門知識を有する研究者

・５つの研究部をはじめ、国際栄養情報センターを有し、専門ごとに多彩な研究者が在籍

主な研究テーマ・内容

国立健康・栄養研究所では、健康と栄養に関する様々な先進的な研究を行っています。
ここでは、現在取り組んでいる研究のうち、代表的なものをご紹介します。

健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究

概 要

国立健康・栄養研究所

日本全国で大規模研究を実施し、健康な1000名の生活習慣・検診情報を調査。血液、DNA、糞便から遺伝子多型、腸内細菌叢などを分析・収集

医薬基盤研究所

独自の技術※1により、免疫指標※2などのデータを分析・収集

これらを統合し、データベースを構築

大学・病院等の疾患患者や地域別の解析データと比較することで、
生活習慣病を引き起こすリスク因子を特定でき、生活指導の実施が可能

TOPIC「“やせ菌”候補の発見!」

データベースを用いて、生活習慣病リスク関連腸内細菌のうち、BMIと相関するものを検索した結果、BMIと逆相関する菌、いわゆる“やせ菌”候補を発見!
この“やせ菌”に関連する生活習慣も、データベースを使えば検索可能。
⇒肥満改善や防止につながる可能性がある!

※1　腸内細菌叢メタゲノム解析、インフォマティクス解析、疾患バイオマーカー探索技術など
※2　サイトカイン(細胞間の情報伝達に関与)、抗体、代謝物など

エネルギー代謝に関する研究

概 要

- ◆様々な対象者の日常生活における総エネルギー消費量の測定(二重標識水法)
- ◆食事・運動など様々な要因がエネルギー消費量やエネルギー源(基質)に及ぼす影響の測定(ヒューマンカロリメーター)
- ◆様々な活動時のエネルギー消費量(基礎代謝量を含む)の測定
- ◆その他にも、既存のデータベースが充実

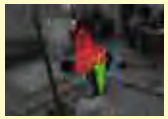
ヒューマンカロリメーター

TOPIC「姿勢の変化を細かく捉えて、正確な消費量解析が可能に!」

歩行(走行)とそれ以外の活動では、上体と下半身の動きが異なる。この姿勢の変化を捉えるため、重力加速度の分析から、歩行と歩行以外の生活活動を判別するアルゴリズムの構築に成功!
⇒日常生活における、より正確なエネルギー消費量の解析が可能に!

(Oshima et al., Gait Posture, 2010; Ohkawara et al., Br J Nutr, 2011)

歩行



洗濯物干し

健都への移転(裏面参照)を機に、先端科学技術と運動・栄養のサイエンスとの融合をさらに加速させ、世界をリードする健康長寿研究をめざします。

貴社のニーズに国立健康・栄養研究所がお答えします!

共同研究・企業連携にかかる様々なご要望に対して、受託研究・技術指導・設備共同利用など、それぞれのニーズに合った研究内容・サービス等をご提案します。

国立健康・栄養研究所では例えば…

腸内細菌データベースを活用して、運動プログラムや健康づくりに資する食品を開発したい!

腸内細菌叢や遺伝子多型情報を含む先端的な疫学研究成果に基づいて、共同研究や受託研究を行います。

食品成分や素材の有効性を検証したい!

目的に合った精度の高い方法を用いて、食品成分や生活習慣等がエネルギー消費量やエネルギー源(基質)に与える影響の評価ができます。

食品成分や素材の安全性と有効性の情報を調べたい!

新たな研究開発に必要な食品成分や素材の情報を継続的に蓄積し、ホームページで提供しています。
(右記QRコードよりご覧ください)

精度の高いエネルギー消費量を測定したい!

研究所が持つエネルギー代謝測定(ヒューマンカロリメーター、二重標識水法、フード法、ダグラスバッグ法)などのノウハウを活用し、身体活動・座位行動等の生活習慣や健康状態を評価できます。

総エネルギー消費量のデータは、どのように活用できますか?

エネルギー必要量や減量時の摂取量の決定などにおける基本情報として活用できます。

エネルギー代謝に関する製品を開発したいが、どのようにデータを検証すればいいかわからない…

熟練した研究者が、効果的な研究計画を提案・実施します。

etc...

この他にも、ご要望内容に沿ってご相談に応じます!

お問い合わせは、裏面をご覧ください